

# 超音波技術（部品検査）の公開デモンストレーションを実施します

報道関係各位

2012年1月5日

超音波システム研究所

---

超音波技術（部品検査）の公開デモンストレーションを実施します

---

超音波システム研究所（所在地：神奈川県相模原市、代表：齊木）は、超音波利用に関する、オリジナル技術ノウハウを、公開したデモンストレーションを実施します。

超音波の発振制御による

「部品表面・接続状態・・・」の検査方法・技術についてデモンストレーションとして公開します。

これは、セミナー・・・で、写真・動画・言葉を使用した説明とは異なり、実際の作業を通して確認・把握していただくという方法です。

暗黙知といわれるような事項がたくさんあることに気がつきましたのでこのような企画を考えました。作業を行いながら、ポイントや意識している事項を説明していきます。

具体的な方法としては以下のような計画です

時間 10:00-14:00（食事 50分）

場所 超音波システム研究所

人数 1名の場合 費用 1名 60000円

人数 2名の場合 費用 1名 33000円

人数 3名の場合 費用 1名 25000円

（1社で複数人数の場合は別途見積もりします）

説明

ノウハウ資料、技術説明、質疑応答、食事

写真・動画の撮影は自由です

実施は2012年2月より開始します

2 - 3 ヶ月に 1 回行う計画です

ご希望の方はメールでお問い合わせください  
(受け付けは2012年2月1日より対応します)

新しい超音波の検査システム技術です。  
部品構成に合わせた、超音波発振制御による  
送受信の測定データについて、弾性波動を考慮した解析で、  
各種の組み付け振動状態（モード）として検出します。  
検出データを統計処理により  
目的とする部品の評価基準に対して検査するシステムです。

複雑に変化する超音波の利用状態を、  
音圧や周波数だけで評価しないで  
「音色」を考慮するために、  
時系列データの自己回帰モデルにより解析して  
評価・応用しています

目的に応じた利用方法が可能です

例1：ネジの締め付けによる接触状態の検査

例2：溶接による接触状態の検査

例3：バネ・スペーサー・シール材・・・による接触状態の検査

例4：電気接点の接触状態の検査

.....

これまでの部品検査技術に加え  
新たに500 - 5kHzのポンプ波を利用する方法を  
取り入れることで  
半田状態や線材（材質、構造・・・）に関する検査を可能にしました

参考動画

【本件に関するお問合せ先】

超音波システム研究所

URL : <http://www.green.dti.ne.jp/aabccdx/>

---

Generated by ふれりりプレスリリース

<https://www.prerele.com>